

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
介護職員初任者研修講座VI Care Staff Beginner's Training lectureVI		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(介護職員初任者研修ユニット必修)	介護職員初任者研修講座 I～Vを受講し合格していること
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
介護職員初任者研修講座 I～V				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
介護職員初任者研修講座 VII				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
吉田志保、石川幸子	福祉棟	授業以外の時間		授業中に指示します
授業の概要				
「介護職員初任者研修講座VI」(こころとからだのしくみと生活支援技術、認知症の理解、障害の理解)では、利用者個々のニーズを的確に把握し、求められる支援を導き実践するための思考過程である「介護過程」を学ぶ。また、認知症と障害を理解するための学習を行う。				
授業の目標				
①介護過程を行う目的と、介護過程の構成要素を列挙できるようにする。 ②紙上事例を通して、介護過程の一連の流れを説明できるようにする。 ③認知症を引き起こす疾患を、列挙できるようにする。 ④認知症の中核症状と行動・心理症状(BPSD)の特性を踏まえた、介護の原則について説明できるようにする。 ⑤障害の概念とICFを説明できるようにする。				
授業の方法				
「介護過程」は講義と演習の組み合わせで行う。はじめに介護過程の構成要素や一連の流れを説明し、事例を使って各自が介護計画を立案できるように個人ワークを行う。「認知症の理解」及び「障害の理解」は講義中心に進める。				
学習の成果(学習成果)				
①介護過程の流れをふまえて利用者に必要なニーズを考え、ニーズの充足に向けた計画の立案ができる。 ②認知症がある利用者に対して理解に努め、尊厳を保持した基本的な接し方を身につけることができる。 ③障害の概念とICF、障害者福祉の基本的な考え方について述べるることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	認知症の理解① 認知症を取り巻く状況 認知症ケアの理念【石川】			
第2回目	認知症の理解② 医学的側面から見た認知症の基礎知識(脳のしくみ、記憶のしくみ)【石川】			
第3回目	認知症の理解③ 医学的側面から見た認知症の基礎知識(認知症を引き起こす疾患とその病態、ケア)【石川】			
第4回目	認知症の理解④ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活(生活障害、心理・行動の特徴)【石川】			
第5回目	認知症の理解⑤ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活(利用者への対応、家族への支援)【石川】			
第6回目	障害の理解① 障害の基礎的理解(障害の概念とICF、障害者福祉の基本理念)【吉田】			

第7回目	障害の理解② 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、支援の基礎的知識① 身体障害【吉田】	
第8回目	障害の理解③ 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、支援の基礎的知識② 身体障害【吉田】	
第9回目	障害の理解④ 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、支援の基礎的知識③ 知的障害【吉田】	
第10回目	障害の理解⑤ 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、支援の基礎的知識④ 知的障害、精神障害【吉田】	
第11回目	障害の理解⑥ 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、支援の基礎的知識⑤ 精神障害【吉田】	
第12回目	こころとからだのしくみと生活支援技術 介護過程の基礎的理解① 介護過程の目的 構成要素【吉田】	
第13回目	こころとからだのしくみと生活支援技術 介護過程の基礎的理解② 介護過程の展開【演習】【吉田】	
第14回目	こころとからだのしくみと生活支援技術 介護過程の基礎的理解③ 介護過程の展開【演習】【吉田】	
第15回目	こころとからだのしくみと生活支援技術 介護過程の基礎的理解④ 介護過程の展開【演習】【吉田】 <課題提出 授業終了時>	
事前・事後学習	ITや図書館を活用して、授業で不明であった点は必ず次回授業までに調べておくこと。また、科目担当者や担任に質問に行くこと。常に分析をする視点を持つこと。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	評価基準Sは、授業の準備（テキスト、配布資料等）が整い、授業に集中している。ディスカッション場面では他者の話に耳を傾けつつ、自らの意見も積極的に述べるができる。
レポート	20%	介護過程の展開で評価する。事例の利用者をイメージし、必要なニーズが抽出できていること。利用者の視点での目標設定ができ、目標達成に向けた支援が考えられていることを評価の視点とする。
調査報告書		
小テスト		
試験	60%	論述、記述式の試験を行い評価する。論述は根拠(エビデンス)に基づき自分の言葉で述べられていること。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
介護職員初任者研修テキスト／中央法規（介護初任者研修講座Ⅰと同じ） アクティブラーニングで学ぶ介護過程ワークブック／みらい		
履修上の留意点・ルール		
●石川実務経験（職種：介護福祉士、職歴：通算13年）●吉田実務経験（職種：介護福祉士（介護職）、職歴：通算6年1ヶ月） 講義・グループ演習に積極的に参加し、学びを共有してほしい。机の上に携帯電話、飲み物など教材以外のものを置くことは禁止する。 やむを得ず欠席する場合は、必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。		